

古田氏出馬正式表明

コロナ対策「まだ途中」

県知事選

55年ぶり保守分裂選挙へ



5選に向けて正式に出馬を表明した古田肇知事＝20日午前10時13分、岐阜市藪田南、県水産会館

古田肇知事(73)は20日、任期満了(来年2月5日)に伴う県知事選(同1月7日告示、同24日投開票)に5選を目指して無所属で立候補する、と正式に表明した。記者会見で「新型コロナウイルスから県民の命を守るという一点を最大の課題として、引き続き取り組んでいきたい」と決意を語った。

【関連記事26面に】

知事選を巡っては、自民・支持が割れており、55年ぶりの保守分裂選挙となる公算が高まっている。国会議員の大半は古田氏を支持する一方、県議の多くは元県商工労働部長の内閣府大臣官房審議官、江崎禎英氏(55)を支持している。

古田氏は20日朝、県連に推薦願を提出した。「県政自民クラブとは二人三脚で取り組んできた。(クラブの)議論を見守りたい」としたが、「仮に推薦を得られなかった場合は」との質問には「不転の決意。県

民に真つすべし決意を訴え、選挙に向かって進んでいきたい」と述べた。

新型コロナウイルスに加え、豚熱(CSF)対策や災害復旧など危機管理分野での取り組みを挙げ、「関係者や、献身的な県職員とオール岐阜で乗り越えてきた。(新型コロナウイルス)はまだ途中で、手を抜くわけには

「古田氏に一本化を」

経済、業界団体が表明

古田肇知事(73)が5選出馬を正式表明した20日、経済団体や業界団体の幹部が岐阜市内で記者会見し、自民党県連の分裂を避けて5選を目指す古田氏に候補者を一本化するよう求めた。

古田肇知事(73)が5選出馬を正式表明した20日、経済団体や業界団体の幹部が岐阜市内で記者会見し、自民党県連の分裂を避けて5選を目指す古田氏に候補者を一本化するよう求めた。



岐阜新聞 Webに動画

いかず、県民の命を守るという点が決意の基本、原点にある」と述べた。

古田氏は岐阜市出身。岐阜高、東大法学部を卒業後、1971年通商産業省(現経済産業省)入省。首相秘書官や外務省経済協力局長などを務め、2005年の知事選で初当選し、現在4期目。5期目となると、公選知事では県政史上初となる。

知事選には、元県職員で新人の新田雄司氏(36)も無所属での立候補を表明している。



県知事選で5選を目指す現職の古田肇知事(左)と、岐阜商工会議所代表世話人の村瀬幸雄氏(右)ら。20日午前11時50分、岐阜市神田町、岐阜商工会議所

る決断をお願いしたい」と訴えた。

会見には、JA岐阜中央会の櫻井宏会長や、県医師会の役員ら7人が出席。県医師会の伊在井みどり常務理事は「(古田氏は)岐阜の状況を一番、把握している。(新型コロナウイルス対策の)方向性に医師会としては感謝している」と評価。

村瀬会長は「県民の命や安全を守り、地域経済の再生や維持などの対応が求められる中、難しいかじ取りを古田氏に引き続き担ってもらったのが私たちの思い」と会見の狙いを説明。櫻井

会長は「(古田氏は)農林行政でも大きな成果を上げてきた。新型コロナウイルス禍でもリーダーシップを発揮してほしい」と述べた。

県医師会の伊在井みどり常務理事は「(古田氏は)岐阜の状況を一番、把握している。(新型コロナウイルス対策の)方向性に医師会としては感謝している」と評価。

県歯科医師連盟の岡田東洋志副会長は「まだ候補者を一本化できる」と力を込めた。この日は、県町村会、市長会の有志らが推薦状を伝達した。